

平成28年3月期 決算説明会

平成28年5月19日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I. 平成28年3月期決算概要

4Q連結決算ハイライト

百万円	前年同期実績 (H27年3月期)	当期実績 (H28年3月期)	増減額	増減率
売上高	111,998	120,100	8,102	7.2%
営業利益	3,298	3,202	▲96	▲2.9%
経常利益	4,024	2,747	▲1,277	▲31.7%
当期純利益	927	883	▲44	▲4.7%
1株当たり純利益	47.75円	43.09円	▲4.66円	▲9.8%

POINT

北米での増産影響などにより増収となりましたが、中国、アジアでの減産および為替影響により減益となりました

ご参考

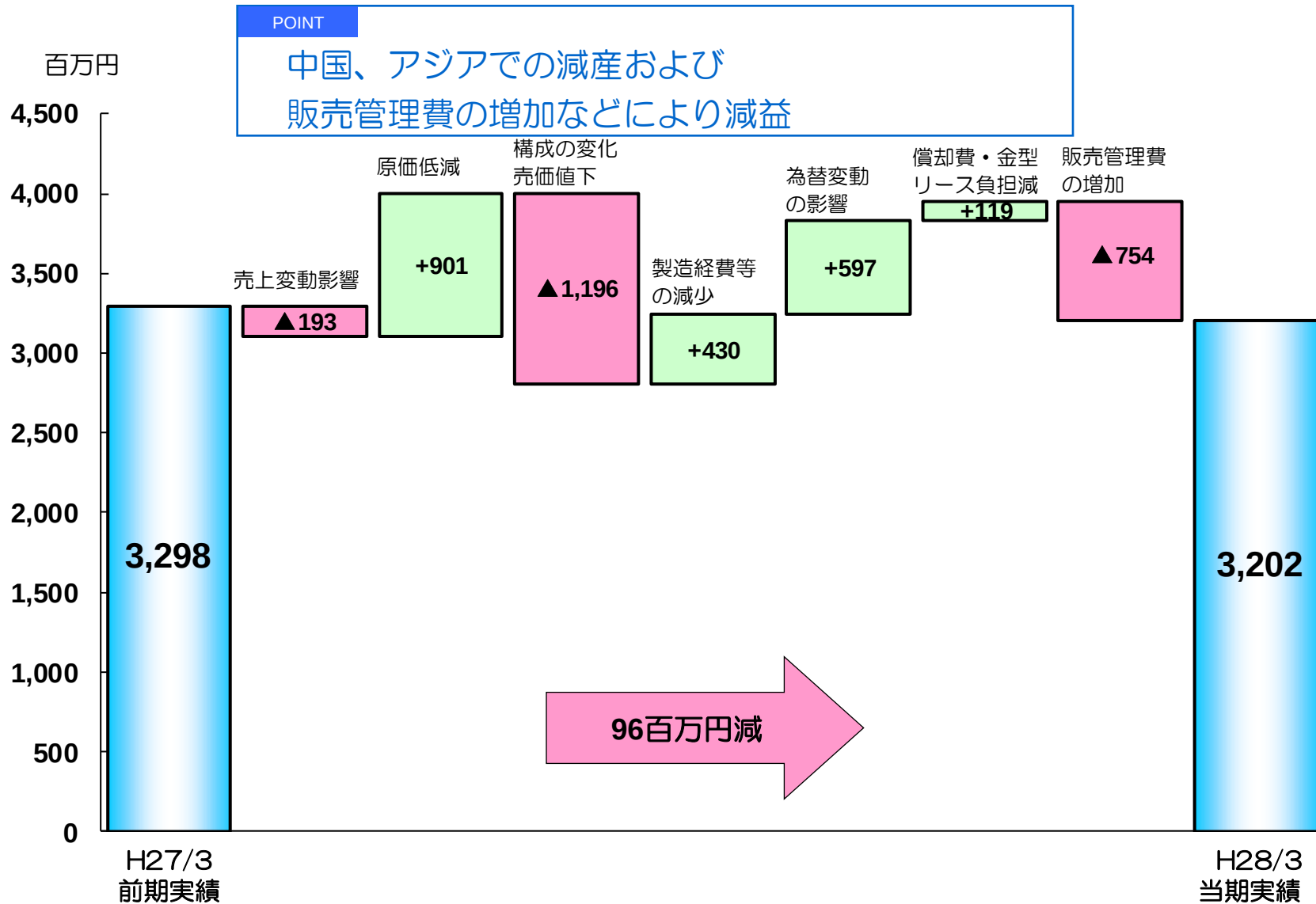
USD 28/3期	121.10円	27/3期	105.79円	15.31円の円安
CNY 28/3期	19.23円	27/3期	17.18円	2.05円の円安
THB 28/3期	3.54円	27/3期	3.26円	0.28円の円安

百万円	前期実績 (H27年3月期)	当期実績 (H28年3月期)	増減額		増減率
			増減額	増減率	
総 資 産	93,564	86,311	▲ 7,253	▲ 7.8%	
純 資 産	47,445	45,881	▲ 1,564	▲ 3.3%	
自 己 資 本 比 率	50.3%	52.7%	-	-	
1 株 当 た り 純 資 産	2,293.76円	2,217.74円	▲ 76.02円	▲ 3.3%	

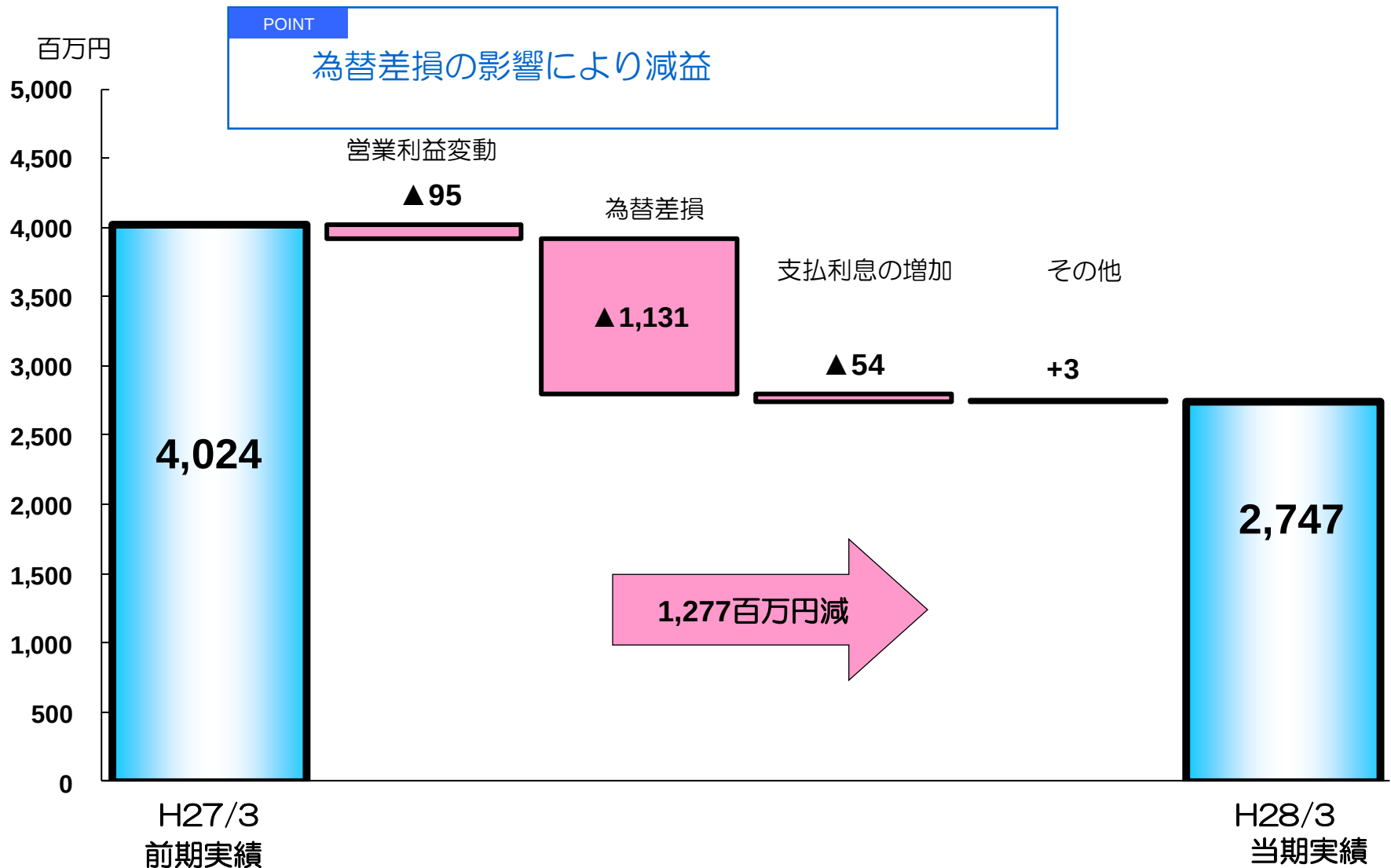
POINT

総資産は、借入金返済および有形固定資産の減少などにより減少しております

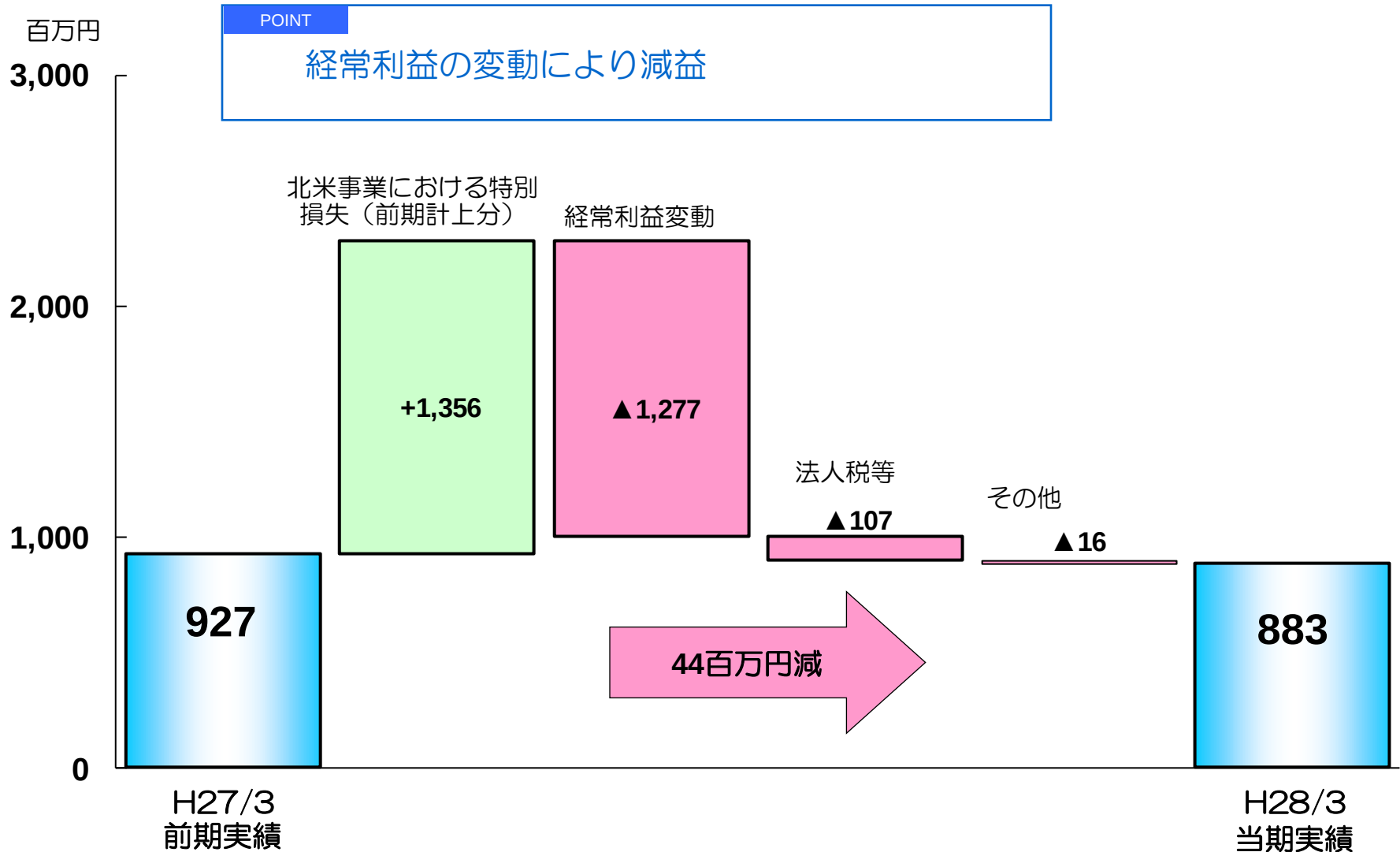
4Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



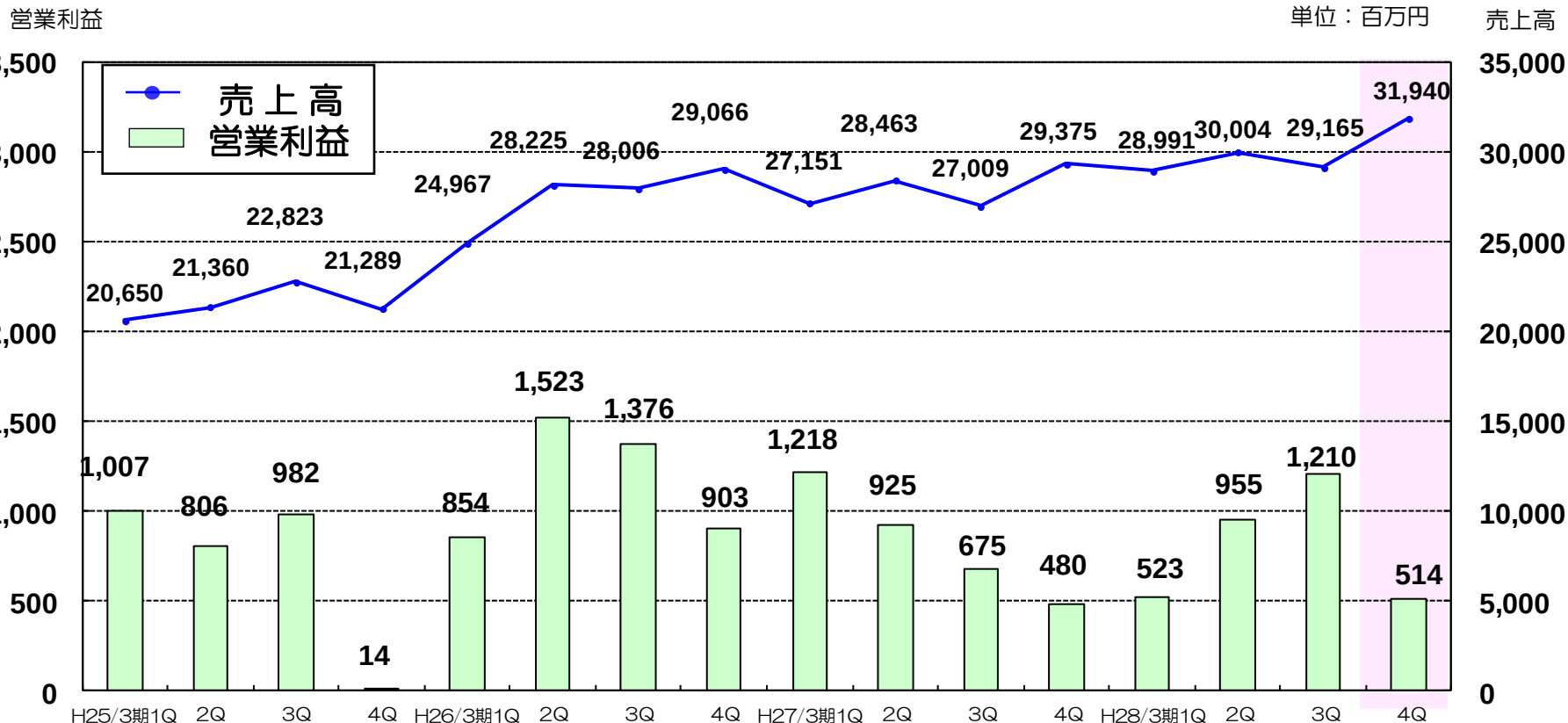
4Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



4Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益



■連結売上高・営業利益の推移



POINT

為替や退職給付債務の影響などにより減益となりました

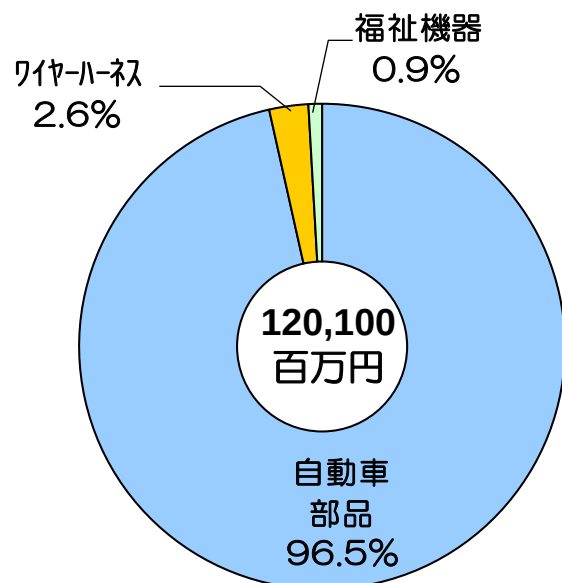
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

百万円		自動車部品 関連事業	ワイハー初 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H28/3期	115,907	3,069	1,123	120,100
	H27/3期	107,410	3,320	1,266	111,998
	増減額	8,497	▲ 251	▲ 143	8,102
営業利益	H28/3期	3,205	▲ 30	16	3,202
	H27/3期	3,129	56	91	3,298
	増減額	76	▲ 86	▲ 75	▲ 96

POINT

主力事業の自動車部品関連は
96.5%

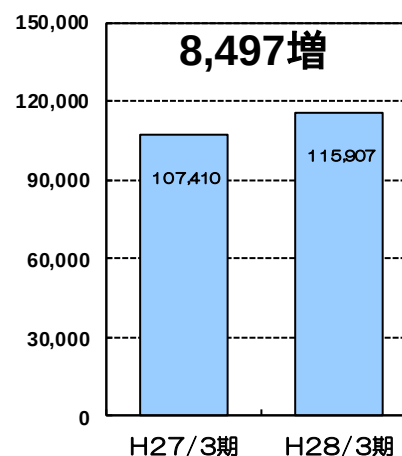
事業の種類別 売上高構成



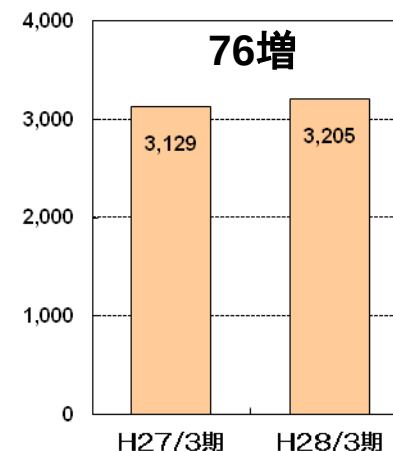
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益



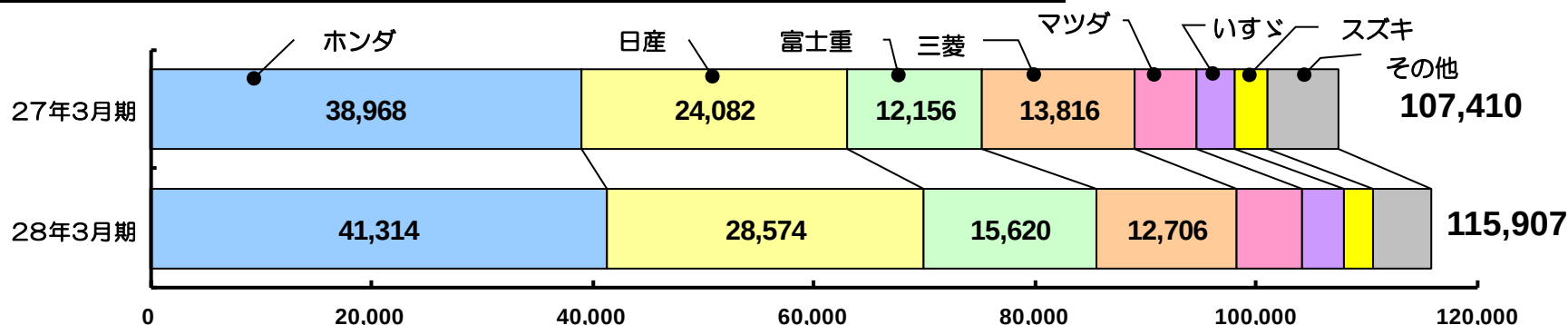
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	38,968	36.3%	41,314	35.6%	2,346	6.0%
日産自動車(株)	24,082	22.4%	28,574	24.7%	4,492	18.7%
富士重工業(株)	12,156	11.3%	15,620	13.5%	3,464	28.5%
三菱自動車工業(株)	13,816	12.9%	12,706	11.0%	▲ 1,110	▲ 8.0%
マツダ(株)	5,591	5.2%	5,940	5.1%	349	6.2%
いすゞ自動車(株)	3,439	3.2%	3,758	3.2%	319	9.3%
スズキ(株)	2,930	2.7%	2,719	2.3%	▲ 211	▲ 7.2%
ダイハツ工業(株)	977	0.9%	786	0.7%	▲ 191	▲ 19.5%
トヨタ自動車(株)	535	0.5%	671	0.6%	136	25.4%
日野自動車(株)	383	0.4%	384	0.3%	1	0.3%
ヤマハ発動機(株)	129	0.1%	105	0.1%	▲ 24	▲ 18.6%
その他	4,399	4.1%	3,325	2.9%	▲ 1,074	▲ 24.4%
計	107,410	100.0%	115,907	100.0%	8,497	7.9%

POINT

- 本田系列向け
 - ・ 北米における生産増加
- 日産系列向け
 - ・ 北米における生産増加
- 富士重系列向け
 - ・ 国内、北米における生産増加
- 三菱系列向け
 - ・ 国内、タイにおける生産減少



事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

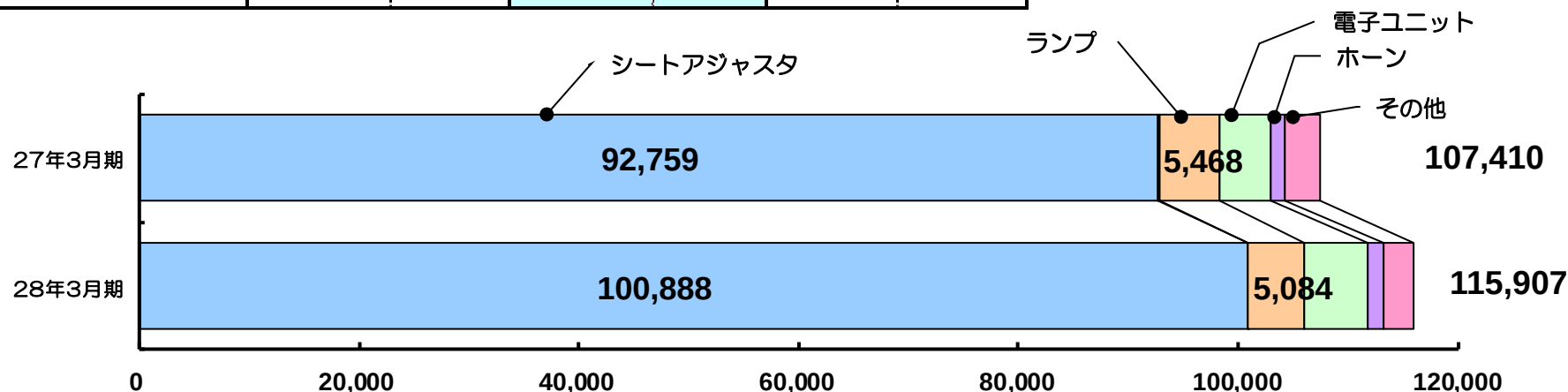
■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	92,809	86.4%	100,927	87.0%	8,118	8.7%
シートアジャスタ	92,759	86.4%	100,888	87.0%	8,129	8.8%
ウインドレギュレータ	50	0.0%	39	0.0%	▲ 11	▲ 22.0%
(2)電装部品	11,476	10.7%	12,348	10.7%	872	7.6%
ランプ	5,468	5.1%	5,084	4.4%	▲ 384	▲ 7.0%
電子ユニット	4,709	4.4%	5,760	5.0%	1,051	22.3%
ホーン	1,297	1.2%	1,504	1.3%	207	16.0%
(3)その他	3,125	2.9%	2,628	2.3%	▲ 497	▲ 15.9%
合 計	107,410	100.0%	115,907	100.0%	8,497	7.9%

POINT

■主力製品であるシートアジャスタは北米向けの生産増の影響などにより増加しました

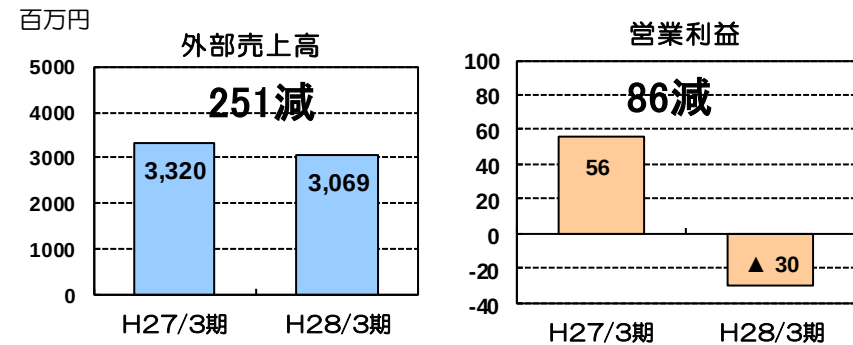
■電子ユニットは中国での生産が増加しました



■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

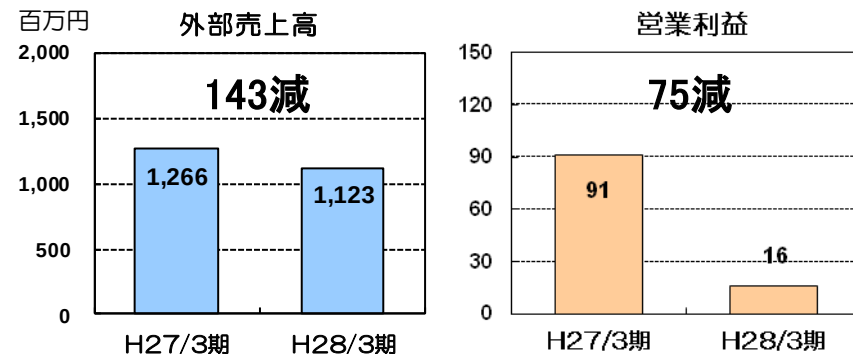
航空機関連の受注の減少および為替影響による材料費の増加により減収減益となりました



■福祉機器関連事業

POINT

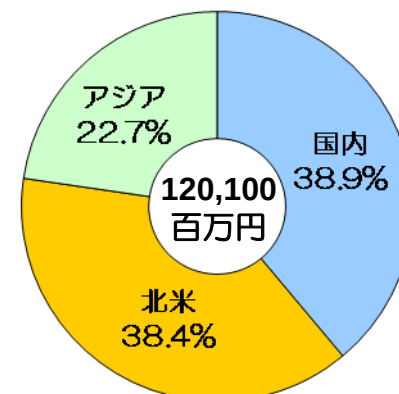
電動車いすの生産減少により減収減益となりました



■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H28/3期	46,706	46,142	27,251	120,100
	H27/3期	47,456	33,876	30,665	111,998
	増減額	▲ 750	12,266	▲ 3,414	8,102
営業利益	H28/3期	898	607	1,634	3,202
	H27/3期	863	▲ 828	3,217	3,298
	増減額	35	1,435	▲ 1,583	▲ 96

所在地別 外部売上高



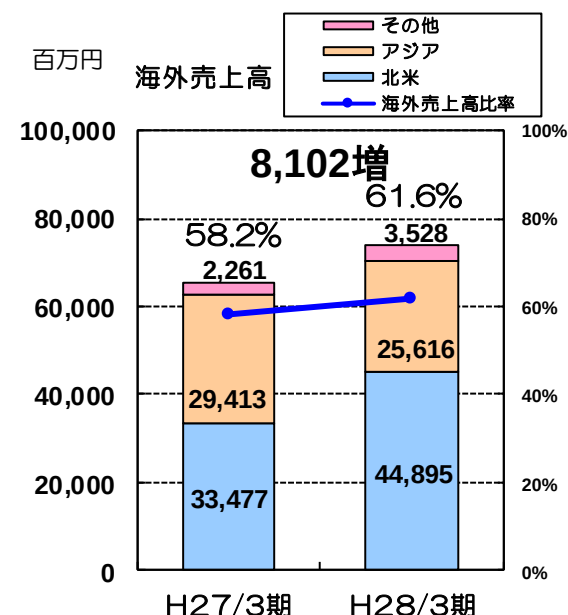
■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H28/3期	46,060	44,895	25,616	3,528	120,100
H27/3期	46,845	33,477	29,413	2,261	111,998
増減額	▲ 785	11,418	▲ 3,797	1,267	8,102

※海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

POINT

北米向けの生産増加にともない海外向け売上高比率は約62%となっております



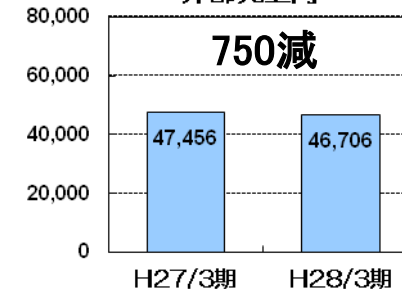
国内

POINT

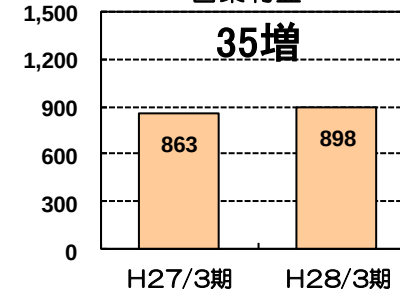
原価低減活動などの効果により増益となりました

百万円

外部売上高



営業利益



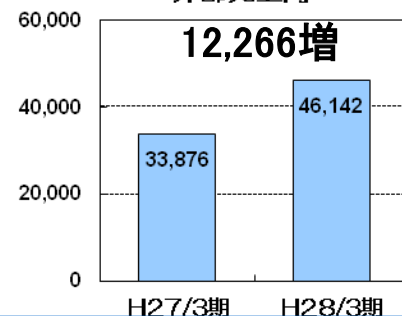
北米

POINT

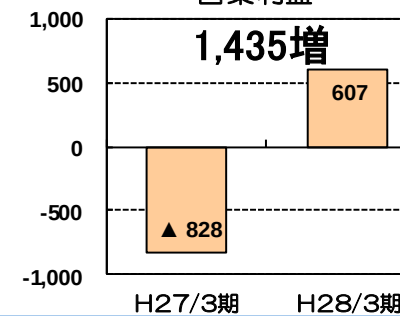
日産、本田、富士重系列向けの生産増加により増収増益となりました

百万円

外部売上高



営業利益



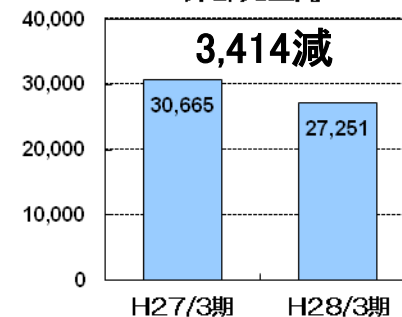
アジア

POINT

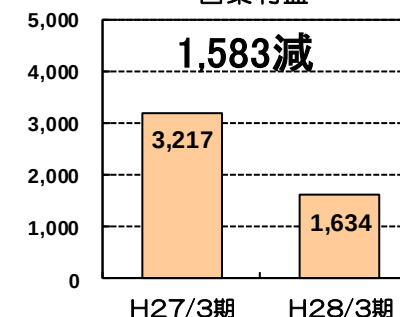
中国、タイの減産影響により減収減益となりました

百万円

外部売上高



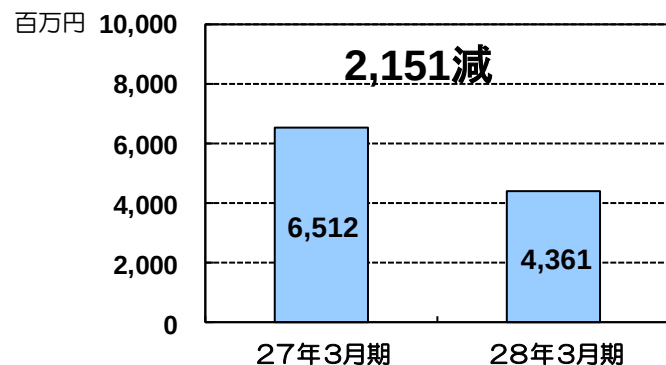
営業利益



■設備投資

POINT

前期に比べ設備投資を抑制しております

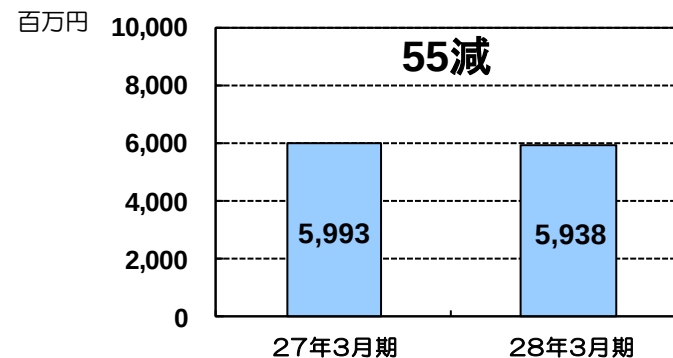


	27年3月期 (実績)	28年3月期 (実績)	前期比増減
日本	3,056	2,346	▲ 710
北米	1,829	945	▲ 884
メキシコ	442	183	▲ 259
中国	740	485	▲ 255
タイ	323	247	▲ 76
フィリピン	89	75	▲ 14
台湾	0	19	19
インド	27	18	▲ 9
インドネシア	3	39	36
合計	6,512	4,361	▲ 2,151

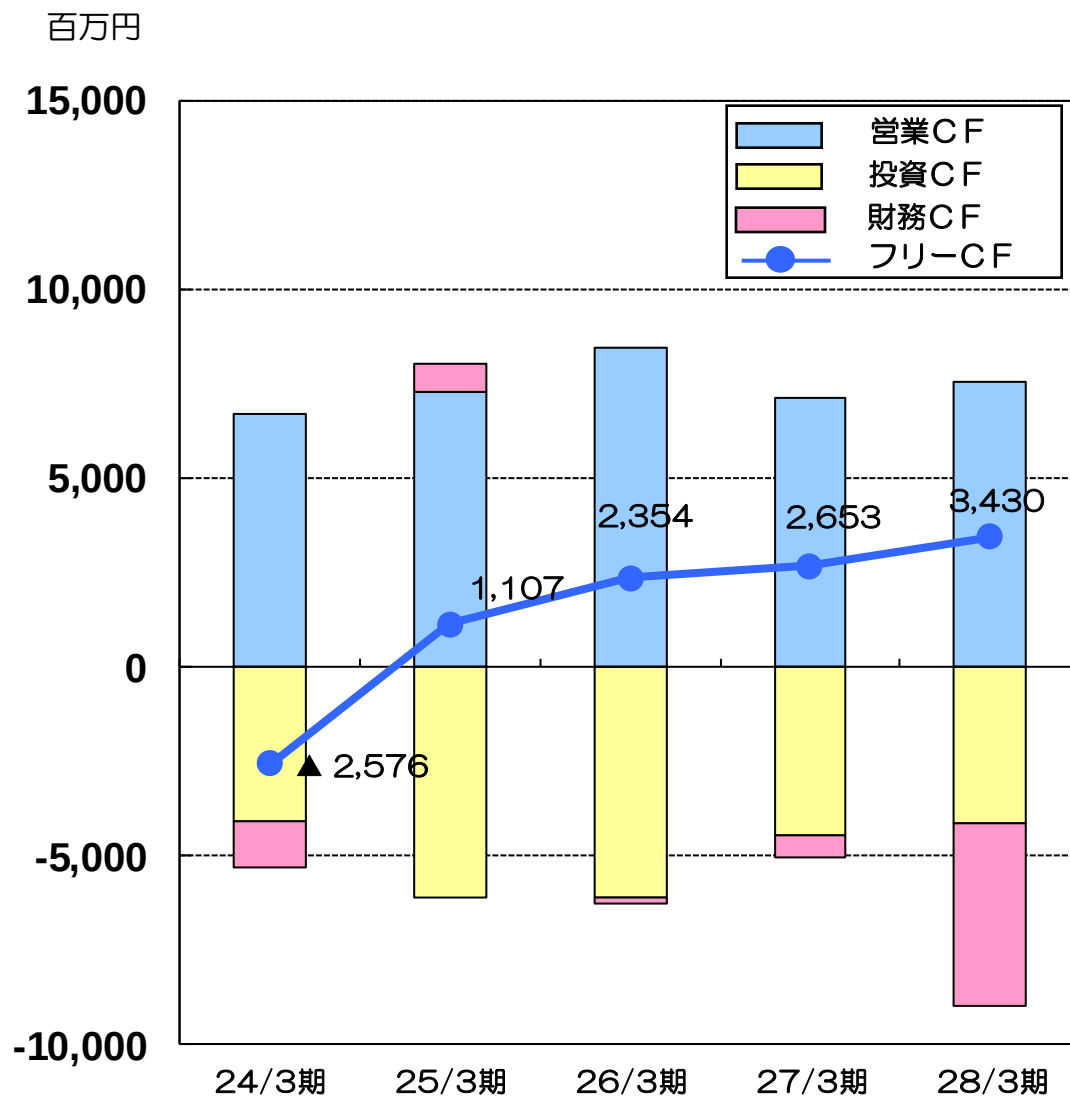
■減価償却費

POINT

減価償却費は前期並みとなりました



	27年3月期 (実績)	28年3月期 (実績)	前期比増減
日本	3,064	2,897	▲ 167
北米	1,739	1,659	▲ 80
メキシコ	75	107	32
中国	512	566	54
タイ	395	455	60
フィリピン	108	98	▲ 10
台湾	22	22	0
インド	74	122	48
インドネシア	0	8	8
合計	5,993	5,938	▲ 55



POINT

■ 投資CFは有形固定資産の取得に対する支払いが減少しました

■ 財務CFは借入金の返済により支出が増加しました

■ フリーCFは3,430百万円となりました

Ⅱ. 平成29年3月期 業績見通し概要

百万円	前期実績 (H28年3月期)	当期予想 (H29年3月期)	増減額		増減率
売上高	120,100	107,000	▲ 13,100	▲ 10.9%	
営業利益	3,202	3,000	▲ 202	▲ 6.3%	
経常利益	2,747	2,900	153	5.5%	
当期純利益	883	1,700	817	92.4%	
1株当たり純利益	43.09円	82.93円	39.84	92.5%	

POINT

国内およびタイでの生産減少と為替影響により、
減収減益を予想しております

ご参考

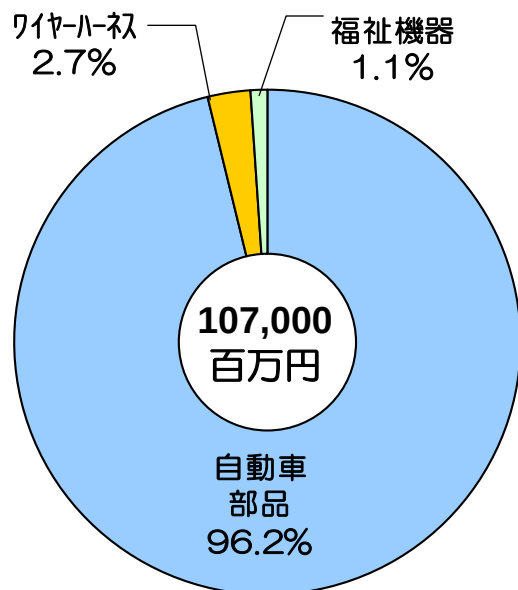
USD	29/3期	108円	28/3期	121.1円	13.1円の円高
CNY	29/3期	16.7円	28/3期	19.23円	2.53円の円高
THB	29/3期	3.09円	28/3期	3.54円	0.45円の円高

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハース 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H29/3期	102,960	2,890	1,150	107,000
	H28/3期	115,907	3,069	1,123	120,100
	増減額	▲ 12,947	▲ 179	27	▲ 13,100
営業利益	H29/3期	2,960	10	20	3,000
	H28/3期	3,205	▲ 30	16	3,202
	増減額	▲ 245	40	4	▲ 202

POINT

自動車部品関連事業において、国内およびタイでの生産減少と為替影響により、減収減益を予想しております

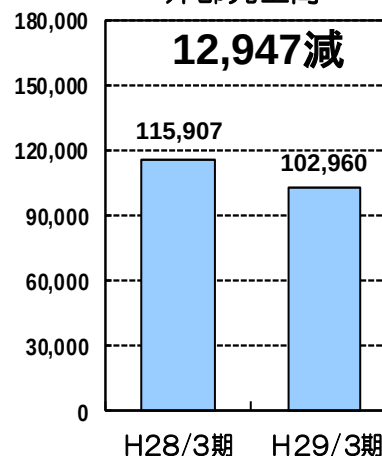
事業の種類別 売上高構成



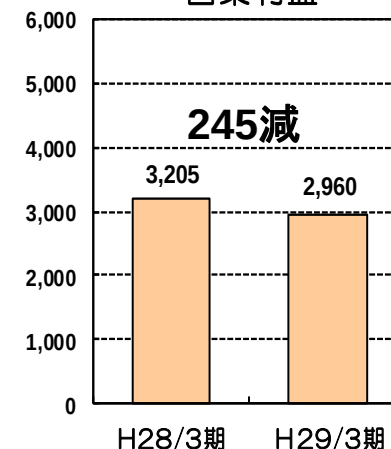
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益

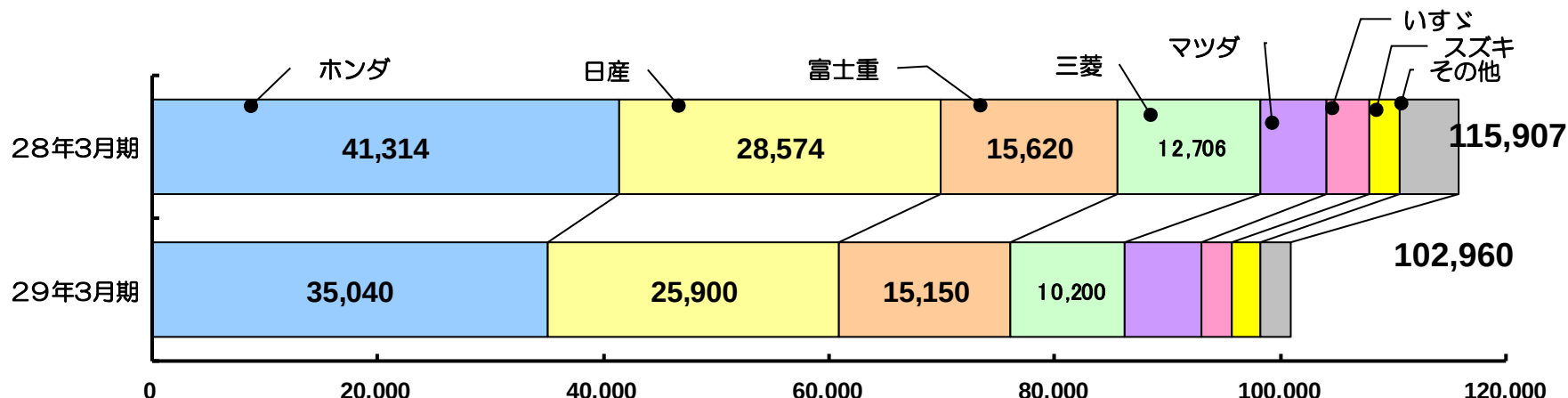


得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	41,314	35.6%	35,040	34.0%	▲ 6,274	▲ 15.2%
日産自動車(株)	28,574	24.7%	25,900	25.2%	▲ 2,674	▲ 9.4%
富士重工業(株)	15,620	13.5%	15,150	14.7%	▲ 470	▲ 3.0%
三菱自動車工業(株)	12,706	11.0%	10,200	10.6%	▲ 2,506	▲ 19.7%
マツダ(株)	5,940	5.1%	6,760	6.6%	820	13.8%
いすゞ自動車(株)	3,758	3.2%	2,720	2.6%	▲ 1,038	▲ 27.6%
スズキ(株)	2,719	2.3%	2,520	2.4%	▲ 199	▲ 7.3%
ダイハツ工業(株)	786	0.7%	830	0.8%	44	5.6%
トヨタ自動車(株)	671	0.6%	620	0.6%	▲ 51	▲ 7.6%
日野自動車(株)	384	0.3%	440	0.4%	56	14.6%
ヤマハ発動機(株)	105	0.1%	100	0.1%	▲ 5	▲ 4.8%
その他	3,325	2.9%	2,680	2.0%	▲ 645	▲ 19.4%
計	115,907	100.0%	102,960	100.0%	▲ 12,947	▲ 11.2%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・国内における生産減少と為替影響
- 日産系列向け
 - ・為替影響により減少
- 三菱系列向け
 - ・国内、タイにおける生産減少
- いすゞ系列向け
 - ・タイにおける生産減少

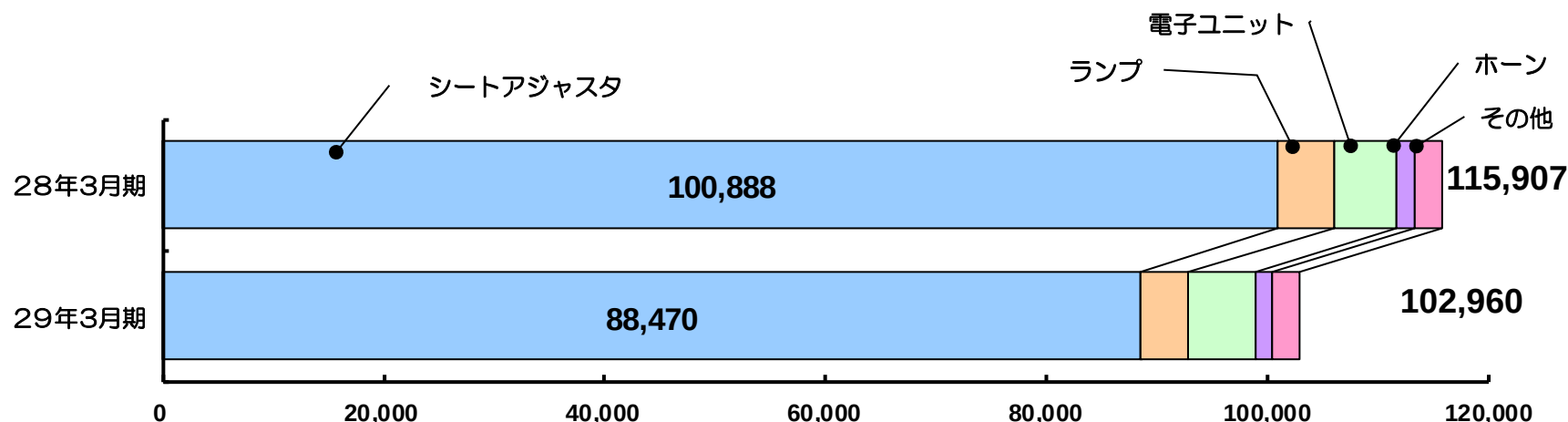


■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	100,927	87.0%	88,470	85.9%	▲ 12,457	▲ 12.3%
シートアジャスタ	100,888	87.0%	88,470	85.9%	▲ 12,418	▲ 12.3%
(2)電装部品	12,348	10.7%	11,860	11.5%	▲ 488	▲ 4.0%
ランプ	5,084	4.4%	4,330	4.2%	▲ 754	▲ 14.8%
電子ユニット	5,760	5.0%	6,080	5.9%	320	5.6%
ホーン	1,504	1.3%	1,450	1.4%	▲ 54	▲ 3.6%
(3)その他	2,628	2.3%	2,630	2.6%	2	0.1%
合 計	115,907	100.0%	102,960	100.0%	▲ 12,947	▲ 11.2%

POINT

シートアジャスタ中心の
事業構成に変化ありませ
ん



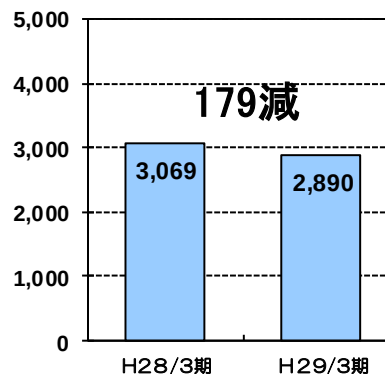
■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

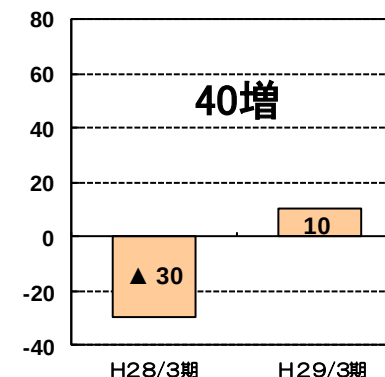
航空機関連、工作機械関連のいずれも減収増益を予想しております

百万円

外部売上高



営業利益



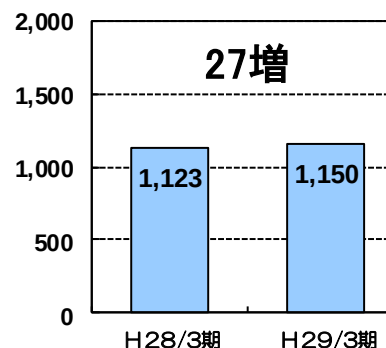
■福祉機器関連事業

POINT

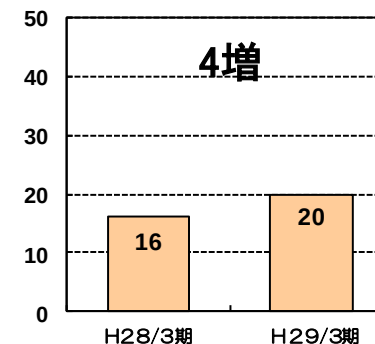
無動力歩行支援機「ACSIVE」の販売強化により増収増益を予想しております

百万円

外部売上高



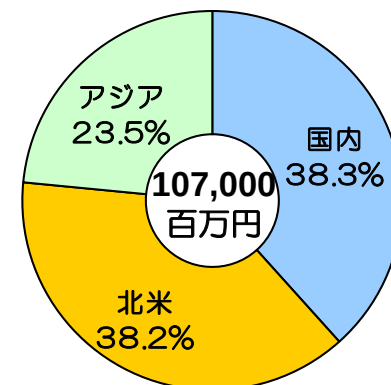
営業利益



■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H29/3期	41,040	40,850	25,110	107,000
	H28/3期	46,706	46,142	27,251	120,100
	増減額	▲ 5,666	▲ 5,292	▲ 2,141	▲ 13,100
営業利益	H29/3期	410	780	2,020	3,000
	H28/3期	898	607	1,634	3,202
	増減額	▲ 488	173	386	▲ 202

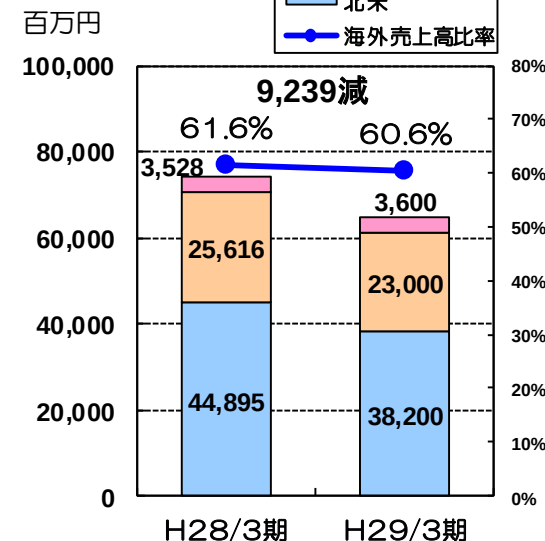
所在地別 外部売上高



■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H29/3期	42,200	38,200	23,000	3,600	107,000
H28/3期	46,060	44,895	25,616	3,528	120,100
増減額	▲ 3,860	▲ 6,695	▲ 2,616	72	▲ 13,100

海外売上高



POINT

■売上高の所在地別割合は前期とほぼ同等と予想

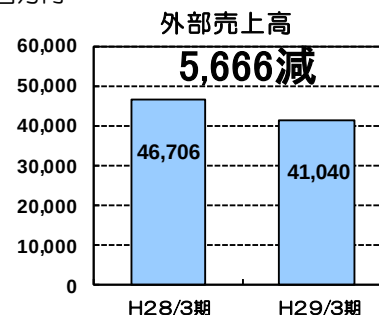
■海外売上高は北米、アジアで減少と予想

国内

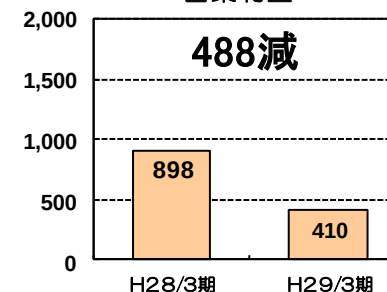
POINT

自動車部品関連事業の生産減少が大きく影響し、減収減益を見込んでおります

百万円



営業利益

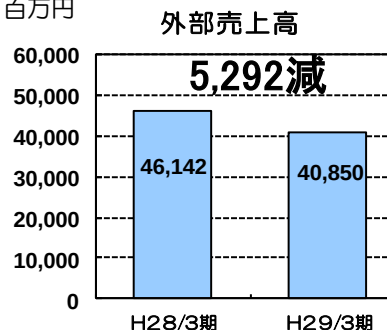


北米

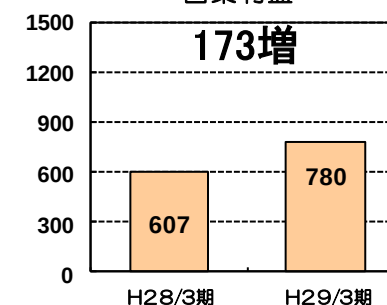
POINT

為替影響などにより減収となりますが、原価低減活動により増益を見込んでおります

百万円



営業利益

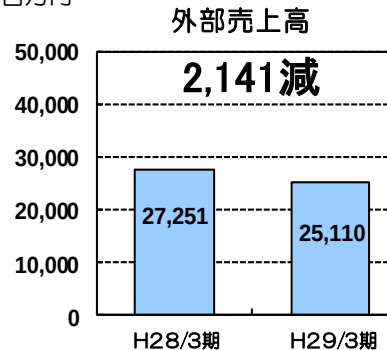


アジア

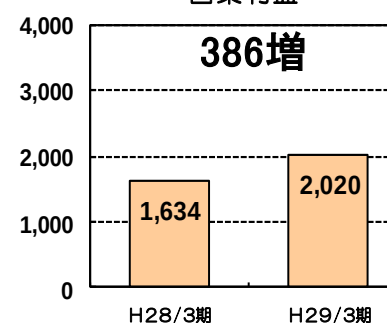
POINT

タイなどの生産減少により減収となりますが、原価低減活動により増益を見込んでおります

百万円



営業利益

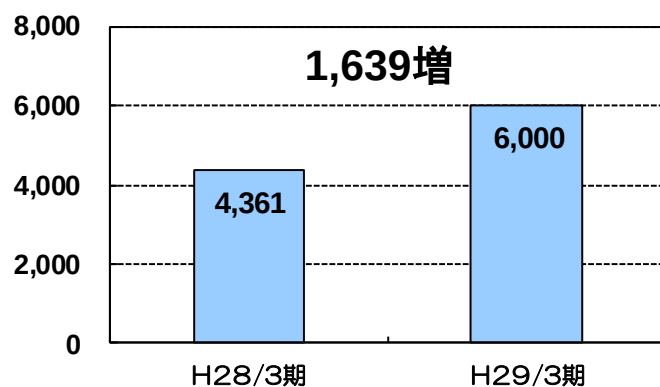


■設備投資

POINT

新規立上り対応による投資の増加を見込んでおります

百万円



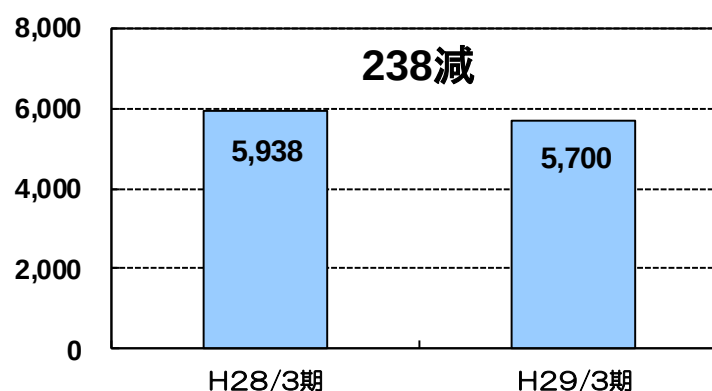
	28年3月期 (実績)	29年3月期 (予想)	前期比増減
日本	2,346	3,753	1,407
北米	945	711	▲ 234
メキシコ	183	235	52
中国	485	519	34
タイ	247	500	253
フィリピン	75	114	39
台湾	19	40	21
インド	18	128	110
インドネシア	39	0	▲ 39
合計	4,361	6,000	1,639

■減価償却費

POINT

北米において減価償却費の減少を見込んでおります

百万円



	28年3月期 (実績)	29年3月期 (予想)	前期比増減
日本	2,897	2,828	▲ 69
北米	1,659	1,484	▲ 175
メキシコ	107	124	17
中国	566	694	128
タイ	455	387	▲ 68
フィリピン	98	97	▲ 1
台湾	22	27	5
インド	122	58	▲ 64
インドネシア	8	1	▲ 7
合計	5,938	5,700	▲ 238

Ⅲ. 今後の経営方針

フェーズ2 重点展開方針

Dream 2020

【フェーズ1】

2014年度

連結売上高 1,120億円

営業利益率 2.9%

フェーズ1 (2012～2014年度)

- ①研究開発の強化
- ②人材育成とグローバル活用
- ③グローバルでの事業拡大
- ④国内事業の再編
- ⑤非自動車領域の事業開発
- ⑥グローバルマネジメント確立

【フェーズ2】

2017年度目標

営業利益率 5.5%

フェーズ2 (2015～2017年度)

<重点展開方針>

技術革新

今仙グループの総力を結集させイノベーションを推進する【技術、造り、品質、管理】

国内事業の再構築

今後拡大が見込めない国内市場において事業、生産拠点をあるべき姿に再構築する【新規事業、生産拠点再編】

グローバル拠点最適化

グローバル拠点の競争力およびネットワークの強化を推進する

人材育成

グローバルでの人材育成を加速させ強化する

2020年度目標

連結売上高 1,800億円

営業利益率 7%

フェーズ3 (2018～2020年度)

※連結売上高1,800億円、営業利益率7%を達成させるための展開活動

事業拡大

変革と種まき

飛躍

＜フェーズ2 重点展開方針＞

技術革新

国内事業の再構築

グローバル拠点の最適化

人材育成

＜重点展開方針からの取り組み内容＞

- ・開発センターを設立（2015年4月～）
グループ技術者の集結

- ・中部地区の製造部門の組織統合
（2016年1月～）

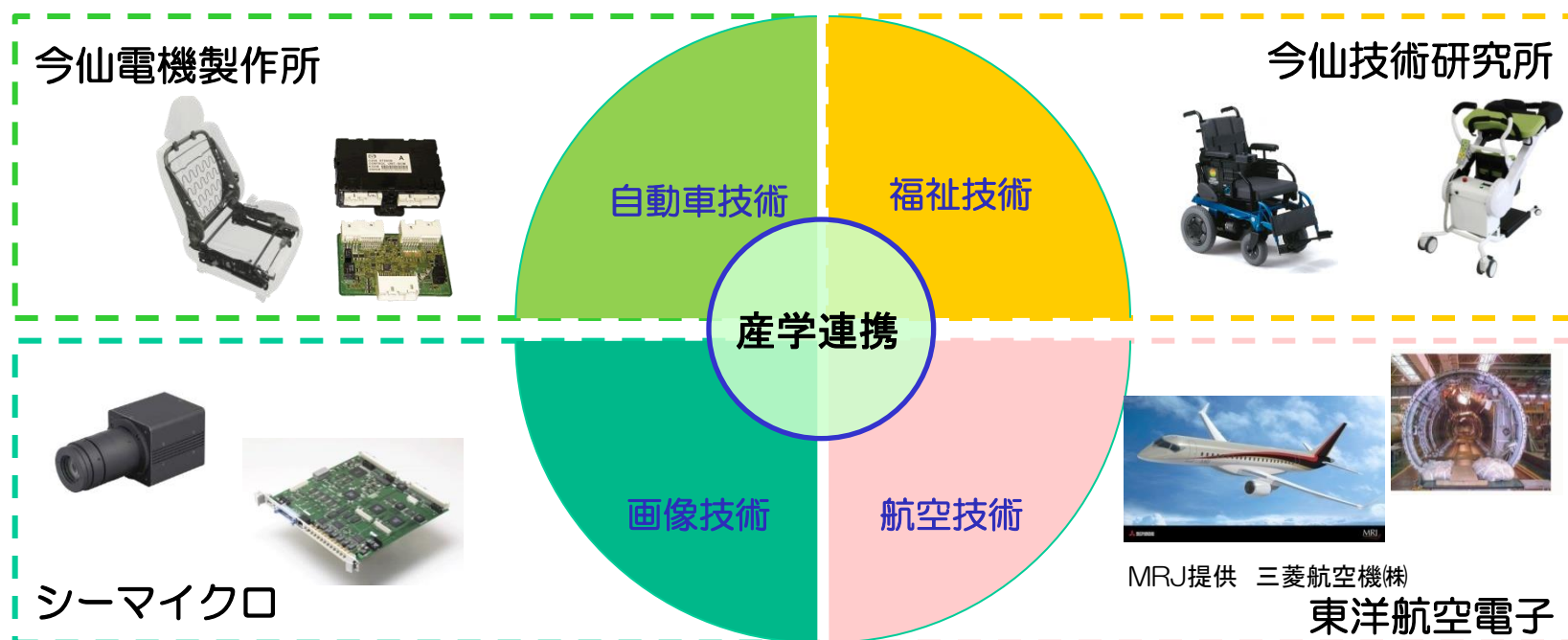
- ・グローバル経営事業部の発足（2015年4月～）
- ・海外子会社の体制強化
（2015年10月、2016年1月）
- ・ドイツ支店の設立（2015年6月～）

- ・グローバル開発・研修センター活用による
各種専門教育の実施

＜開発センター設立の狙い＞

将来の主軸となる新事業創出に向けた開発体制を構築するため、既存事業から完全に切り離れた開発体制で展開

IMASENグループのコア技術を結集した開発体制により、新しい価値の創出とIMASENブランドの構築を狙う



＜IMASEN グローバル開発センターの取り組み事例＞

安全運転支援システム



走行中の自車周り360° の状況を、車内モニタに3Dビューで映し出す機能により
ドライバーに安全で快適な運転環境を提供する

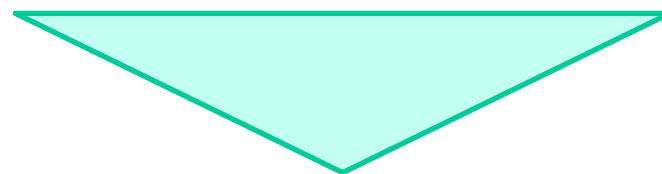
将来の自動運転技術・安全運転に対しても有効な開発として更なる進化・提案を図る

＜IMASEN グローバル開発センターの取り組み事例＞

【義足用スパイク】



今仙技術研究所 × ミズノ



国産初

義足用スパイク・フットカバーを開発

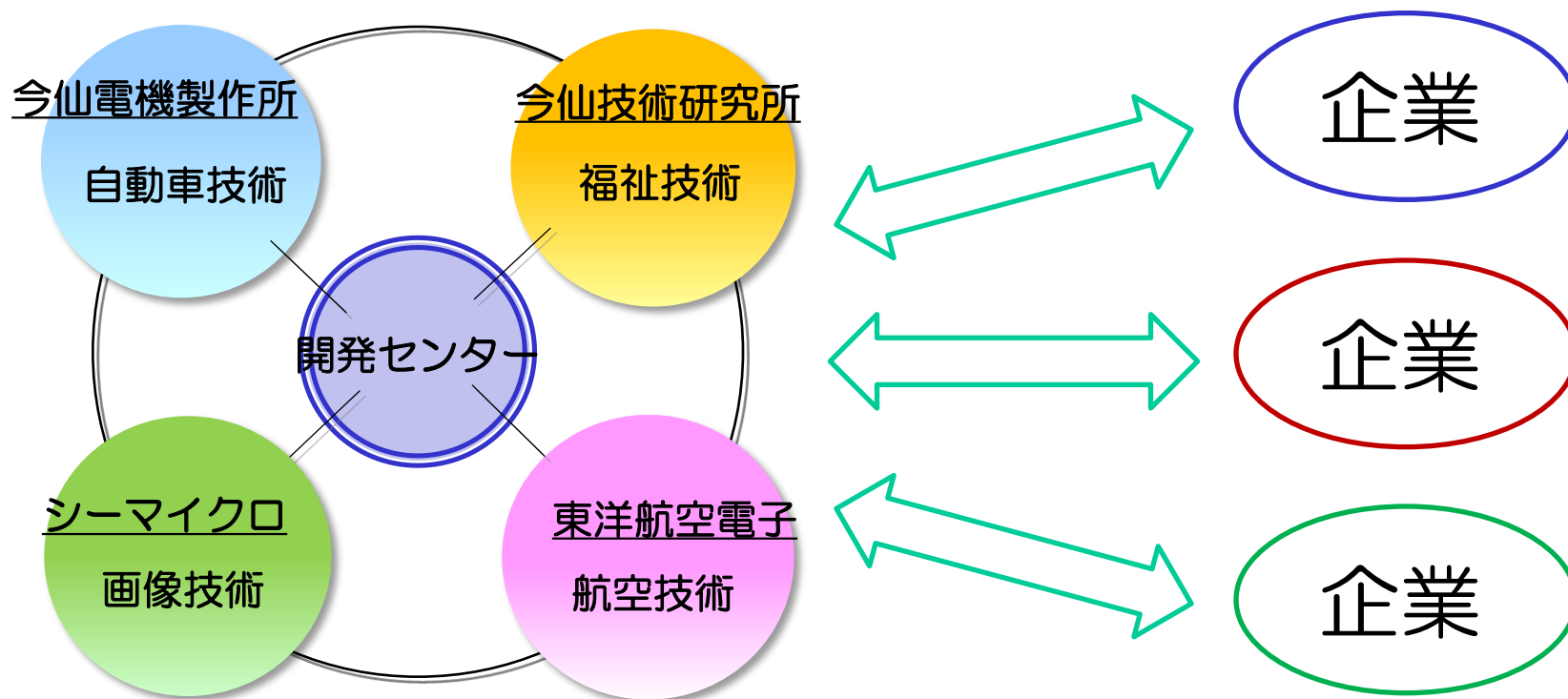
16年リオデジャネイロ
20年東京パラリンピック
選手活躍への貢献を目指す



【フットカバー】



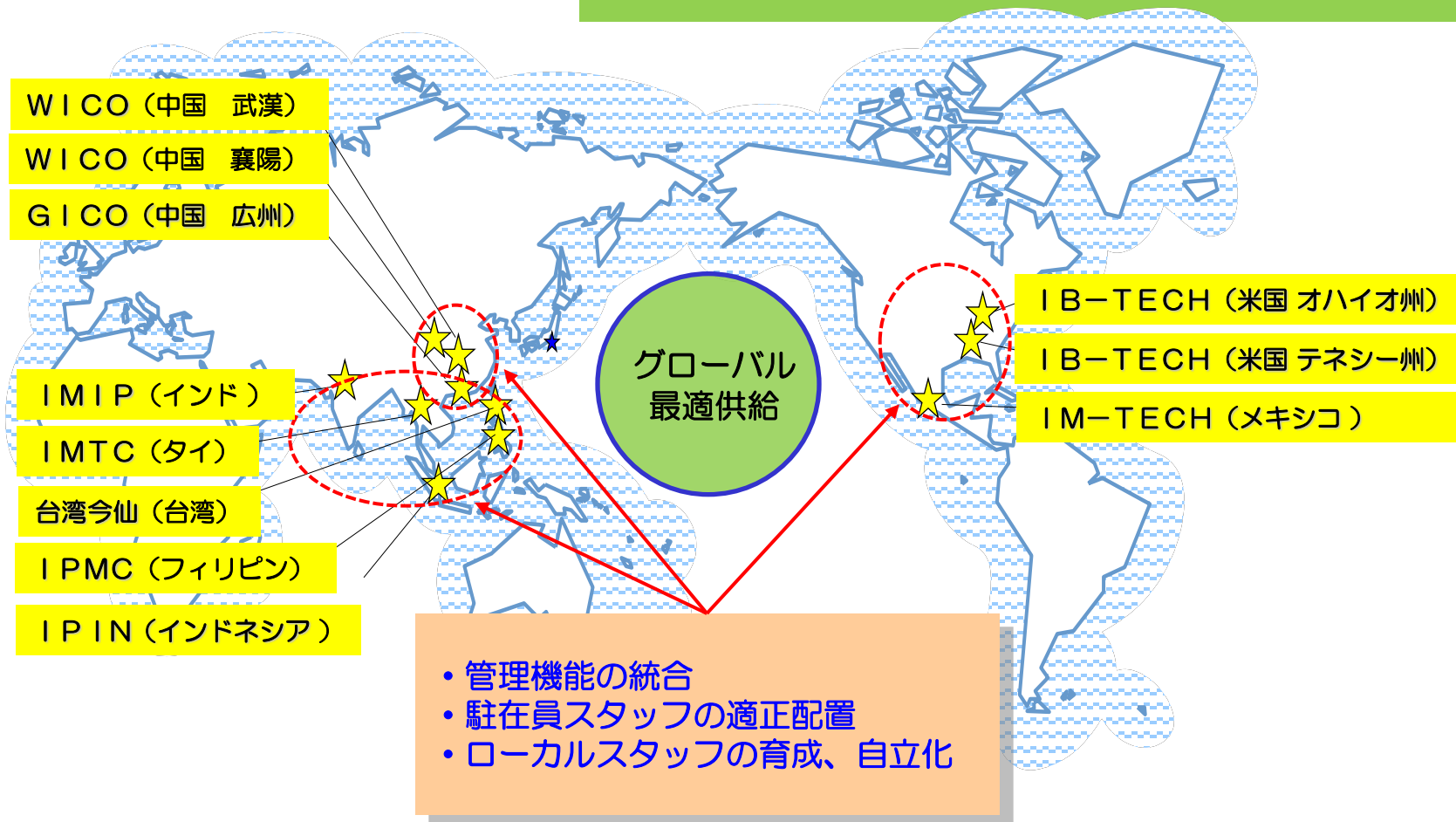
＜IMASEN グローバル開発・研修センター＞ 開発領域における取り組み



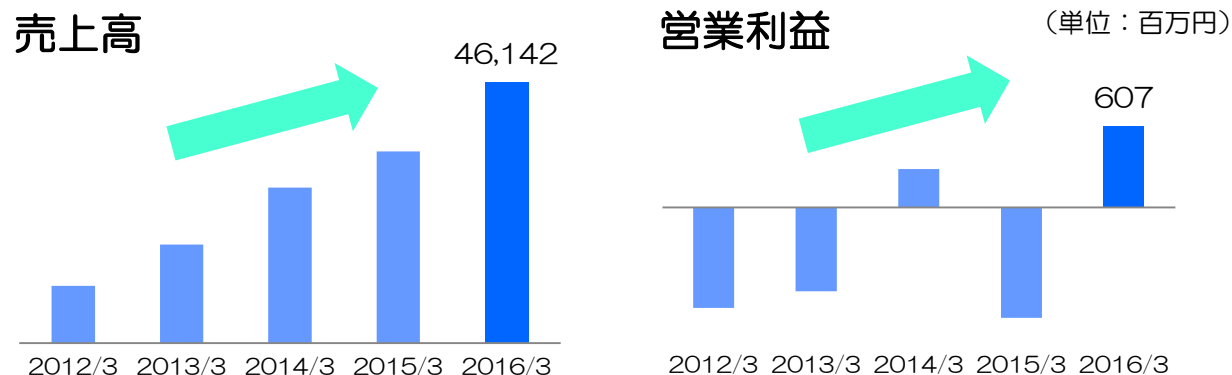
グループ連携に加え、各企業と新製品に対する共同研究・開発を進行中

グローバル拠点最適化 ...

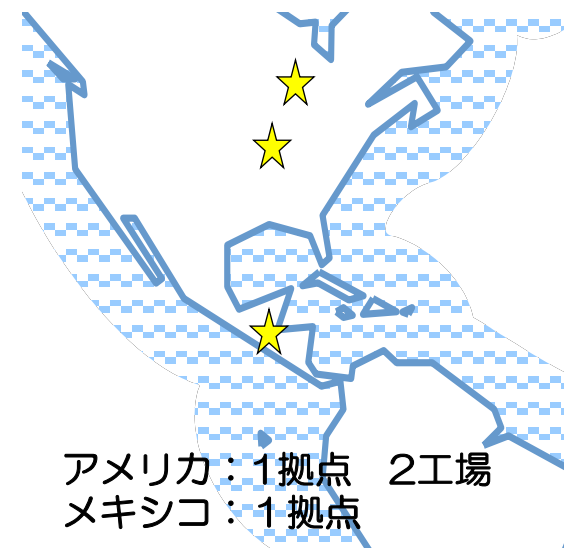
現地化を基本的な考え方とする。但しリソース有効活用の観点からグローバル最適供給を推進する



北米事業収益改善に向けた取り組み



北米事業（アメリカ・メキシコ）において
増収・営業利益の黒字化を達成



グローバル経営事業部を中心とした日本との連携による改善策の実施

- ・ 駐在員の配置適正化を推進
- ・ 北米3拠点の管理機能、スリム化
- ・ メキシコ拠点の活用による原価低減
- ・ 為替変動に応じた最適な生産体制の検討・対応

アジア事業の収益悪化に対する改善着手

WICO (中国 武漢)

WICO (中国 襄陽)

GICO (中国 広州)

台湾今仙 (台湾)

IMIP (インド)

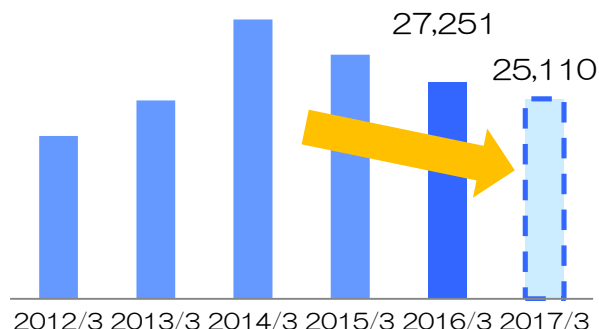
IMTC (タイ)

IPMC (フィリピン)

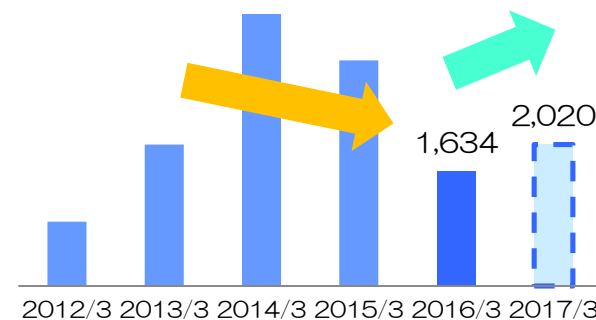
IPIN (インドネシア)

台湾 (台北)
中国 (広州・武漢・襄陽)
タイ (アユタヤ)
インド (ラジャスタン)
フィリピン (ラグナ)
インドネシア (ブカシ)

売上高



営業利益



アジアにおいて不透明な経営環境から
収益は悪化傾向に

売上減少に対しても利益を確保できる体質の構築を図る

- ・コア製品の現地化
- ・原価低減活動の推進
- ・現調化、内製化の推進
- ・中国3拠点の管理・生産体制の最適化
- ・インドネシア (販売拠点開設)
→客先の現地化ニーズに対応し拡販を図る



ドイツ支店 営業活動展開

開設日：2015年6月1日

場 所：ドイツ・フランクフルト

Theodor-Heuss-Allee
Business Center 内オフィス

欧州メーカーへの新規参入に向けた営業活動を展開

フォルクスワーゲンをはじめとした欧州カーメーカーに対する営業活動を開始。

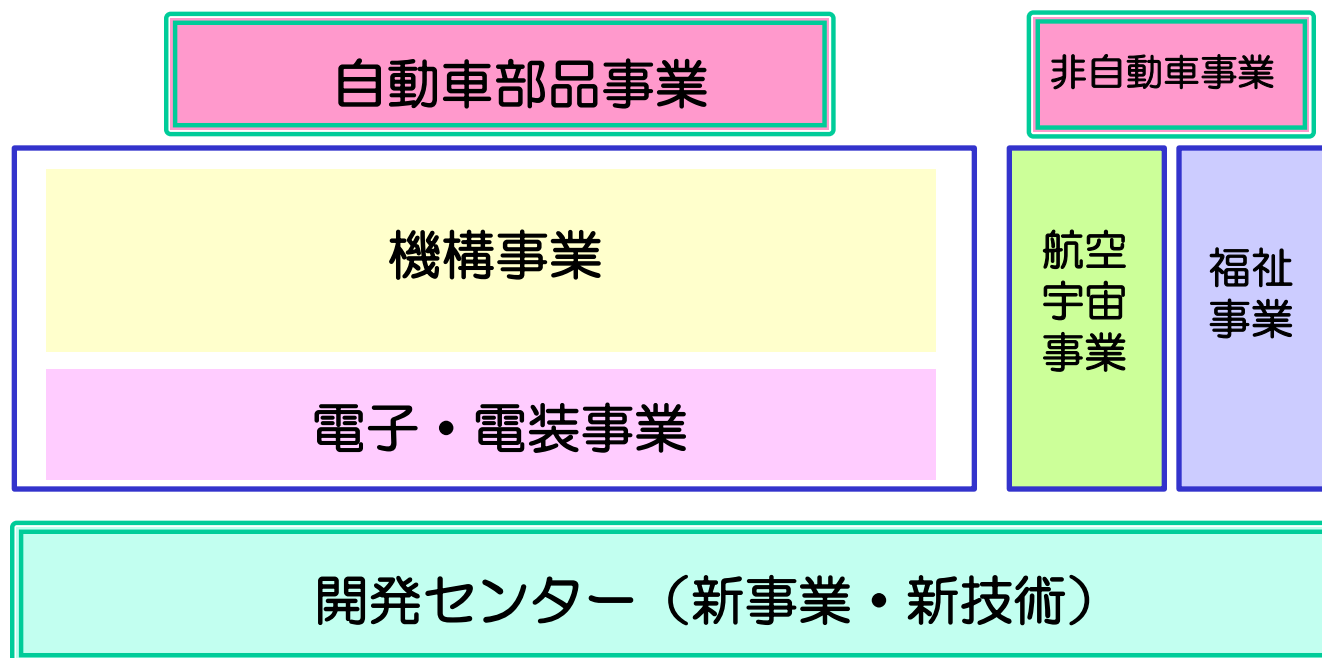
客先ニーズを日本本社と共有、連携を図りながら海外メーカーへの拡販を推進する。

ドイツ支店

日本今仙
開発・設計

執行役員制度の導入について

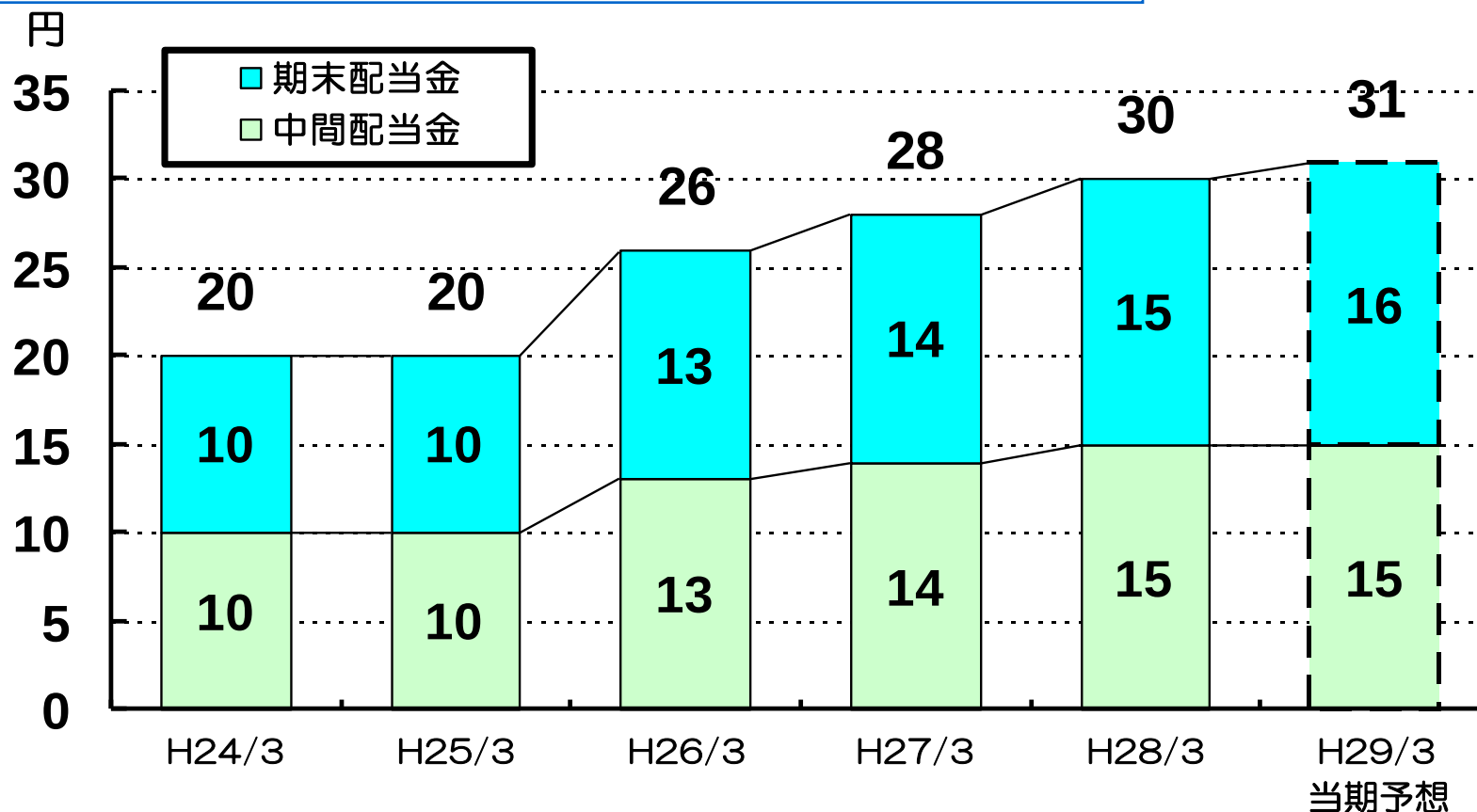
第二の柱である電子事業、非自動車事業将来に向けた開発に対し、適切・迅速なリソース配分の判断・実行が必要



2016年4月 執行役員制度の導入により経営と執行の分離
→ 経営判断と業務執行の迅速化により将来に向けた成長を図る

POINT

前期から増配となる年31円を予定しております

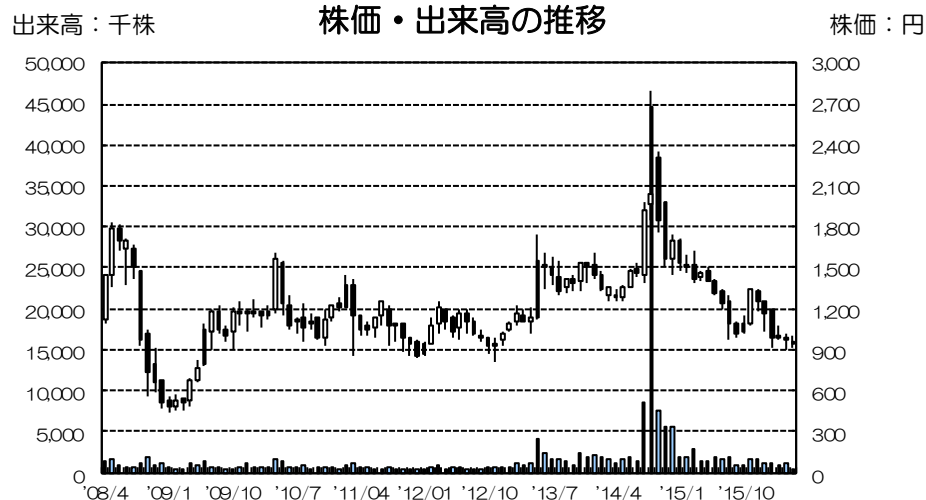


今後のスケジュール

6/22 (水) 株主総会 (名鉄犬山ホテル)
7/15 (金)・16 (土) 名証IRエキスポ (名古屋・吹上ホール)
8/8 (月) 平成29年3月期第1四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営事業部 経営企画課
IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>